



高気密高断熱住宅



『チャコの家』の重要なポイント

省エネルギー住宅をめざす高気密高断熱住宅『チャコの家』では「気密」「断熱」「換気」が最も重要なポイントです。では、それはどういう事なのか？今回は「気密」についてお話ししましょう。

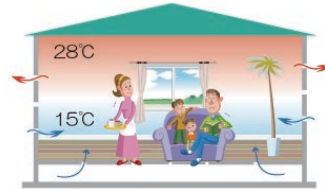
気密編

気密住宅といえば、多くの人は隙間のない息苦しい住宅をイメージするのではないのでしょうか。でも決してそんな事はなく、住宅の断熱化と共に普及した気密住宅には、次のような大事な目的があるのです。

まず一つ目は隙間風によるエネルギーロスの軽減です。建物に隙間がたくさんあると、その隙間を通して空気が入り出します。特に冬場、暖房でどんなに室内を暖めても、その暖められた空気が隙間から逃げ、冷たい外気が隙間から入ってくれば、当然寒さを感じますし、暖房エネルギーを無駄に捨てている事になります。しかし、隙間をできるだけ少なく気密化した『チャコの家』では暖房の効率を上げ、同時に暖房にかかるエネルギーを極力抑える事が出来ています。

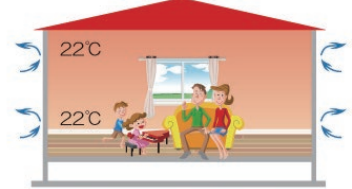
エネルギーロス

低気密



隙間が多いのでドンドン逃げる

高気密



隙間が少ないので無駄に逃げない

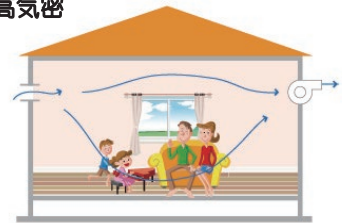
計画換気

低気密



隙間が多いので室内外の空気の出入りを把握することもコントロールすることもできない

高気密



隙間が少ないので室内外の空気の出入りをコントロールできる

次は換気効率の向上です。どんなに高機能な換気設備を導入しても、隙間だらけの住宅では、換気の経路が不安定になり過換気になったり換気不足になったりします。換気不足になると空気が淀み結露してカビやダニの発生の原因になったりします。でも正しく気密化した『チャコの家』では安定した計画的な換気を実現させる事が可能になってます。

その他にも、内部結露の防止があります。繊維系の断熱材は通気性があり空気と共に水蒸気も通します。冬期、暖房により暖まった室内の空気は当然水蒸気も含んでいますから、通気性のある繊維系断熱材を通ると外気側で冷たくなり、壁体内で結露してしまいます。また夏期にもこれと同様、逆転結露と言う状況が発生します。一方、断熱材に水分を通さない硬質ウレタンで気密化した『チャコの家』では室内外の空気を通さないで結露の心配もありません。

このように省エネルギー住宅では「気密」は大変重要なことで、『チャコの家』ではこれらの事をしっかり踏まえて高気密高断熱住宅に取り組んでいます。

大雪・台風被害による工事遅延について



・台風により外壁がめくれてしまった現場

度重なる自然災害の影響により現在、建築業界は非常に立て込んでおります。弊社では、生活に甚大な支障が出ているお客様を優先に修繕をさせていただいてきました。その間、工事がストップしてしまったお客様方には大変ご迷惑をお掛けしました。順番に工事を進めさせていただいておりますが、人手が追い付いていない状況です。お見積りも含め工事をお待たせしているお客様には、大変申し訳ありませんが引き続き深いご理解を頂きたいと存じます。お詫びかたがた、今後のご愛顧、重ね重ね、宜しくお願ひ申し上げます。

